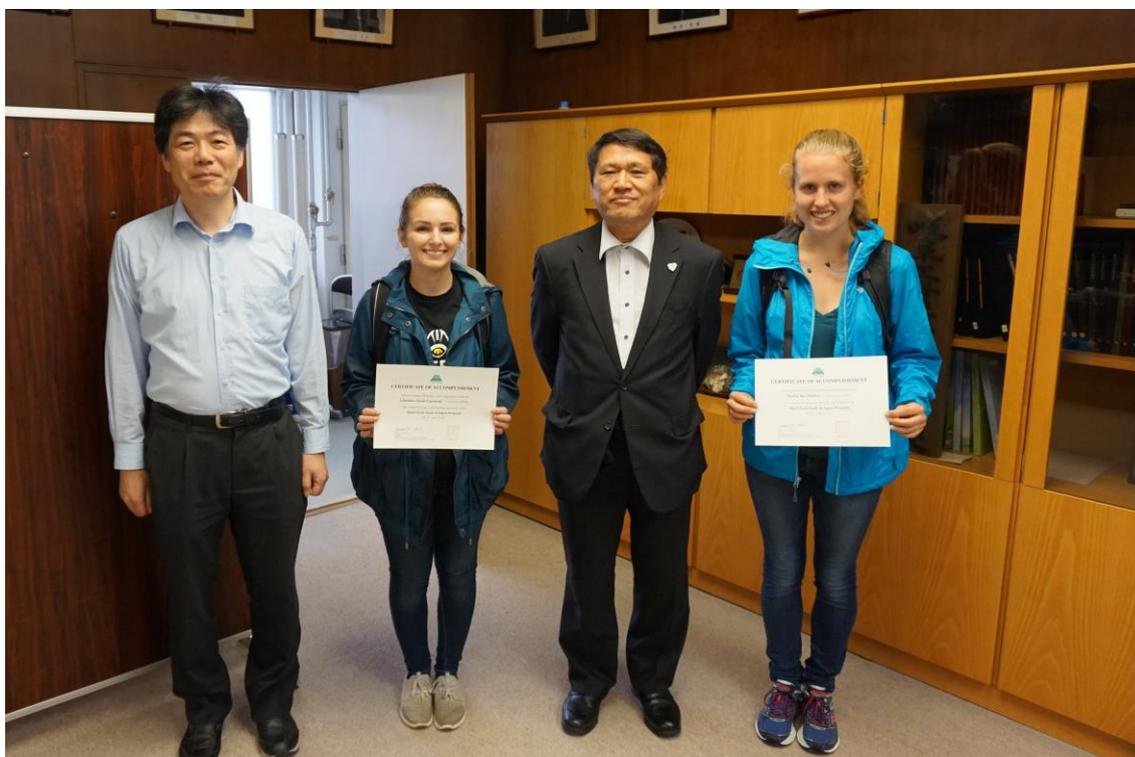


岐阜高専、交流協定締結のアイオワ大学からの双方向受入インターンシップ修了式を挙行

岐阜高専（伊藤義人校長）は、平成29年6月7日に、約2週間にわたって受入れたアイオワ大学の学部生2名のインターンシップ修了式を行った。

岐阜高専では平成25年度から毎年、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の支援を受けて、米国・アイオワ大学（University of Iowa）工学部と学生の交換（派遣・受入）を行っている。岐阜高専の専攻科生を先方大学の研究室に派遣し、3週間の研究指導を受けるプログラムを実施しており、今回、アイオワ大学から学部生を双方向交流として受け入れたものである。岐阜高専の機械工学科、電気情報工学科に留学生を配属し、それぞれのミニ研究テーマを実施するとともに、岐阜高専学生との交流を深めた。アイオワ大学学生との面談、アンケートによる満足度は高く、本校との絆を深くして帰国した。この双方向協定型の短期交換プログラムは、JASSOの短期研修・研究型の受入れ支援により初めて可能となり、岐阜高専学生・教職員の国際化・グローバル人材育成に大いに寄与している。修了式では、羽渕国際交流室長らの立会いの下に、伊藤校長から学生に修了証書が手渡された。併せて今回のインターンシップについて懇談を行った。



アイオワ大学の学生と校長（中央右）、国際交流室長らとのインターンシップ修了式後の記念写真